

生活環境におけるにおい評価

生活技術開発セクター 佐々木直里

1. におい識別装置により種々のにおい測定が可能
2. におい識別装置と官能検査の相関性を確認
3. 形状・主成分の違いは数値のばらつきに影響なし

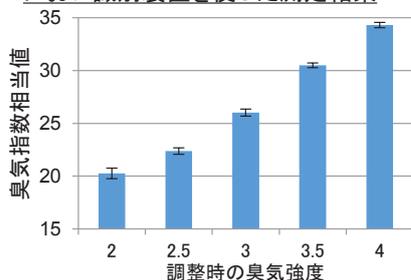
背景

におい識別装置は、においの質や強さを数値化できる装置であり、サンプル間の比較やクレーム品のにおいの強さの違いを客観的に評価することができます。ここでは、におい識別装置を使ったにおい強度の測定や官能検査との相関性についてご説明します。

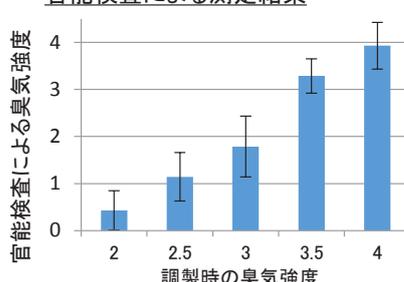
測定結果

■酢酸エチルを使ったにおい識別装置と官能検査による測定の相関性

におい識別装置を使った測定結果



官能検査による測定結果

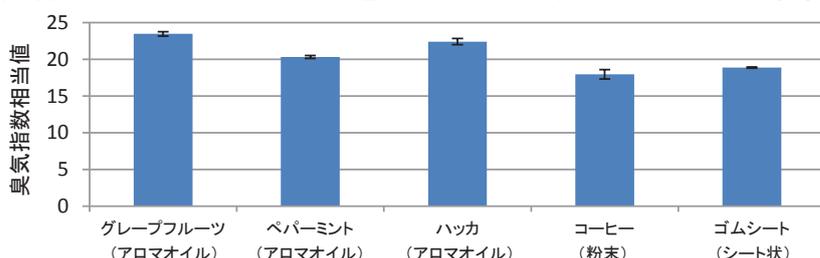


におい識別装置と官能評価による臭気強度の間に相関性あり



人間の感覚と類似した評価が可能

■試料の形状やにおい成分の違いによる測定数値のばらつきの影響



繰り返し測定により臭気指数相当値にばらつきがないことを確認



サンプル間の比較や性能評価に実用可能

今後の展開

- 本装置を使った依頼試験、機器利用等を承ります。
- 繊維製品の消臭性効果試験を本装置で実施しております (ISO 17299-5に準拠)。
- その他、製品の消臭性効果の検証にも対応しております。



におい識別装置